

長岡京市生活環境審議会の評価・意見及び市の考え方

長岡京市では、本計画を策定及び進捗管理を行う際に意見を求めるため、「長岡京市生活環境審議会」を設置しています。この審議会には、市民や事業者、諸団体と行政の委員が参加し、PDCA サイクル（計画し、実行し、チェックし、改善する仕組み）を運用しています。本計画の取り組み主体は行政ですが、それを行政自身で評価するのではなく、多様な主体が加わって評価します。

これにより、行政以外の視点でチェックをし、取り組みを改善していくことができます。この章では、審議会委員からの評価と意見をまとめるとともに、それに対する市の考え方について報告します。（※重複する意見や単純な質問・回答については省略しています。）

■6 ページ「CO₂ゼロで行うごみ収集事業」について

委員意見
◇こういった事例を参考にしたか、見込みの数値はどのくらいか、取り組み拡大の方向性といった追加情報がほしい。
市の考え方
◇事例や数値目標を追記する。取り組み拡大の方向性については、令和 4 年度は試行期間であるので、まずは試行期間中の課題を整理しながら今後検討していきたい。

■10 ページ「自転車走行空間の整備」について

委員意見
◇200m の整備目標に対して実績が「未整備」となっているが、おそらく用地確保は時間のかかるものであり、そのために着手していることもあると思う。もう少し努力の跡が見える表現でもよいのではないか。
市の考え方
◇ご指摘のとおりと考えるので、所管課に進捗の詳細を再度確認の上、表現を改める。

■12 ページ「給食調理くずの再資源化」について

委員意見
◇何に再資源化されるのか、知りたくなると思うので記載しておいてはどうか。また、今後の取り組み拡大の見通しについても知りたい。
市の考え方
◇再資源化後「飼料」となるので、その旨記載する。今後の見通しについては、広く研究する段階。先進事例にも課題はあるものとする。生ごみ水切りなど、エネルギー投入量を減らす取り組みも並行して行っていく。

■15 ページ「雨水タンク設置数の目標未達」について

委員意見
◇マンション建設が多い中、雨水タンクはマンションには設置できないことが多いので、実績報

告にあたり、その辺りについて言及しておいてもよいのでは。
市の考え方
◇「マンションなど個別の住宅事情もある」という点について追記する。第三期環境基本計画では、この目標指標については、今後の展望含めた見直しの結果、除くこととしているが「雨水の活用」自体は政策的事項として引き継いでいくこととしている。

■34 ページ「新型コロナウイルスの影響」について

委員意見
◇コロナ禍で評価に影響を受けた事業の数について、34 ページに記載してはどうか。
市の考え方
◇三角評価が多くなっている理由について、評価のまとめのページで説明するのが有効と考え、34 ページに追記する。

■35 ページ「第二期環境基本計画の総括ページの、三期環計画に向けた部分」について

委員意見
◇提案資料の小見出しの書き方では、「課題」と「展望」が併記されているが、その中身の箇条書きでは「不法投棄件数の増加」と、よくない事象で表現が終わっていたりして、課題を示しているのか展望を示しているのかが分かりづらいのではないかな。
市の考え方
◇「課題」を示しているのか「展望」を示しているのか、誤解のないようにしたい。未来につなげるような、前向きな表現に統一するなど書き方を工夫する。

■40 ページ「ゼロカーボンシティ宣言・三期計画での分野横断的視点」について

委員意見
◇三期に向けた展望的なところに触れるのであれば、ゼロカーボンシティ宣言にも触れておくべきではないか。その際、具体的なことにも触れられれば、他の自治体との違いも出てよいと考える。
◇同じく三期に向けた展望的なところに触れるのであれば、第三期環境基本計画でポイントとしている分野横断的視点についても触れておくべきではないか。また、適宜指標の見直しの可能性についても申し送りたい。
市の考え方
◇ご意見のとおりと考えるので、二期計画の総括の後に 1 ページを追加しまとめたい。また、指標についても適宜ご助言をいただきながら、見直しの可能性はあるものと考えている。

■報告書全般について

委員意見
◇毎年丁寧に進捗管理をされていると思う。その上で、目標自体がこのままでよいのかという懸念がある。気候変動はじめ、環境問題の深刻化の方がこの計画よりも先に進んでしまっている。

三期計画以降においては、目標の見直し・さらなる前進の可能性を含んでおいていただきたい。
市の考え方
◇目標については、時代の趨勢や環境問題の実情に合わせた見直しは必要なことと捉えている。 引き続き審議会のご提言をいただきながら、現状に甘んじることなく、取り組みを加速化させていきたい。

■「CO₂ ゼロで行うごみ収集事業」「JR 長岡京駅東口のゼロカーボン化」資料について

委員意見
◇上記二つの事業の資料は今回の報告書とは別立てとなっているが、他の展開も考えられるとてもよい事業だと思う。今回を最初として、他の活動にも広げてほしい。
市の考え方
◇当該事業については、次年度にも詳細を報告する。今回の取り組みで見えてきた課題などあれば整理しながら、今後も事業者等を巻き込んだ事業を展開していく。

■計画が目指すところの市民への PR について

委員意見
◇第三期環境基本計画について、よい計画だと思う。後はそれをいかに PR し行動変容に移してもらうかであると思うが、たとえばこの計画にフィットした市民の暮らし方であるとか、より具体的にイメージできる周知の仕方をされてはどうか。
◇あるべき姿であるとか、理想の姿であるとか、未来の市の姿というものを、お互い共有することが非常に大事だと思う。また、ナッジ（nudge：「そっと後押しする」の意）の手法を活用するといったことも検討されたい旨、申し添える。
市の考え方
◇ご指摘のとおりと考える。気候変動の危機意識はあっても、それが行動変容に結びつかないとすれば、それは脱炭素社会の具体的なイメージ・未来像が見えないからではないかという話を、当審議会委員からいただいたことがある。そういった点を踏まえ、実際に未来像を市民と共有する企画を近く予定している。今後もそうした視点で市民啓発を行い、計画が計画で終わらないよう施策を実施していく。